

鴻池荘 通所リハだより



第54号

鴻池荘のページ
QRコード



在宅での課題を訪問リハから通所リハへ

70 歳代後半 女性、要介護 2 一人暮らし

骨折歴が多く、大腿骨頸部骨折での退院後も自宅での転倒を繰り返す。

自宅内の移動は手すり伝い歩き。利用サービスは、訪問リハ（週 1 回）とヘルパー（週 4 回）、訪問看護（週 1 回）を利用していた。

近隣に住む息子さんは仕事をセーブして介護を行っていた。

○在宅での課題○

訪問時は運動を実施できているが、

★自主練習が定着せず ★活動量が少ない ★転倒頻度が多い

移行の目的

活動量拡大・意欲低下への対応・改善を期待して、
通所リハ週 1 回・2 時間のみの利用から開始

移行当初

「今日は体がしんどいからやめとく」「足の筋力をつけて、家で
転倒しないようにしたいが、気持ちがついていかない」

要因分析

様々なスポーツに取り組んできたことへの自負があり、その頃の
自分と比較し、モチベーションがあげられずにいることが分かった。

支援

生活歴にあるスポーツの要素（集団・上達したい！）を踏まえ、
トレーニングを導入「できる」認識が得られる低負荷から徐々に UP。
結果、筋力・持久力改善

結果

転倒は減少。そのことを、「ご本人の努力」の結果としてご家族・
CM とともに積極的にご本人へフィードバック。通所リハ週 2 回へ



ご本人

息子から「危ない！」と言われる事が
少なくなり自由にできる事が嬉しい

台所に行く回数が増え、調理の幅が広
がったと嬉しそうな様子です



息子さん
（安心して仕事復帰！）

モニタリング（体力測定）

< 上下肢筋力・歩行バランス評価 >
握力 5 回立ち座り TUG

< 認知面 >
MMSE・HDS-R



< 持久力 >
3 分間歩行

栄養面・口腔機能の アセスメントを含め
評価結果に加えて

生活状況の聞き取り（必要時、自宅訪問）を基にして
目標と計画の立案をご利用者とともにを行っています。

作品介绍：手作り肌着

もともと得意であった針仕事で、転倒後の
意欲低下から行えていなかった A さん。

今回、腰の負担を和らげるための
「当て」を作ることをきっかけに、自
分専用の肌着づくりに挑戦。綿の詰
め方など相談しながら完成させ、「自
分でできた」「もう少し別のものもで
きそう」と笑顔がみられ、自信と意
欲につながりました。



POINT!

裏のタオルと
綿がポイント

介護老人保健施設鴻池荘 TEL.0745-64-2180

受付時間 9:00～17:00 担当者：相談員 FAX.0745-62-1092

お問合せフォームはこちら。QR コードからアクセスできます。

